様式第２号

事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	都市公園整備事業			コード	153205
２ 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	作成者 福沢　武雄

３ 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち	
		政　策	都市空間の充実	施　策	公園の整備
	予算科目	都市公園整備事業費	業務委託	一部委託
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり

●事業の実施内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		都市公園施設の安全確保と維持管理費の節減を目的に策定した公園施設長寿命化計画に基づいて、誰でも安全で安心して利用できる公園整備を推進する。
目的	対象者	市民
	意　図	公園施設長寿命化計画に基づいて、誰でも安全で安心して利用できる公園整備を推進する。

５ 事業の必要性

＊事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由

公園施設の老朽化に伴い、安全・安心の確保と維持管理の経費節減と計画的な支出が必要である。

６ 事業の全体計画

＊各年度の取組計画

予定全体事業費	306,000,000 円	事業期間	平成22年度から平成30年度
26年度まで	公園施設長寿命化計画に基づく公園施設管理及び整備		
27年度	公園施設長寿命化計画に基づく公園施設管理及び整備		
28年度	公園施設長寿命化計画に基づく公園施設管理及び整備		
29年度以降	公園施設長寿命化計画に基づく公園施設管理及び整備		

７ 事業の実施内容

＊各年度の進捗状況

26年度まで	・岡谷湖畔公園：大型遊具更新工事 ・鳥居平やまびこ公園：渓流広場更新工事、リフト制御盤・運転棟更新工事、木道更新工事、園路改築工事 ・間下堤公園：池更新工事
27年度	・鳥居平やまびこ公園：大型すべり台他更新工事
28年度	・鳥居平やまびこ公園：園路改良工事
前年度の課題への対応	国の交付金を受けながら、計画的に公園施設の更新工事を実施した。

8 コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度まで(累計)	27年度	28年度	29年度(予算)
① 直接事業費		82,780,050	58,656,040	30,024,000	30,100,000
経常経費		0	0	0	0
臨時的経費		82,780,050	58,656,040	30,024,000	30,100,000
＊臨時的経費の説明		公園施設更新に伴う委託料及び工事請負費。（H26，27は降雪による繰越あり）			
② 人件費			5,600,000	5,600,000	5,600,000
正規職員の人数（人）			0.70	0.70	0.70
③ 合計コスト（①＋②）		82,780,050	64,256,040	35,624,000	35,700,000
前年度比				55.4%	100.2%
財源内訳	一般財源	9,936,050	8,733,040	7,124,000	7,200,000
	特定財源	72,844,000	55,523,000	28,500,000	28,500,000
＊特定財源の説明		社会資本整備総合交付金、起債			

●事業の評価（CHECK）

9 事業の進捗状況

区　分		26年度まで(累計)	27年度	28年度	29年度(予算)
進捗率	直接事業費の執行率	27.1%	46.2%	56.0%	
	その他の進捗率				
	＊その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化		
	今まで	（これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと） 新設の公園整備のみに対応していた国の補助事業が、既存公園の整備に拡大され、採択要件として「公園施設長寿命化計画」の策定が定められている。安全・安心のための公園整備と管理経費の節減を図るために、平成22年度に策定した「岡谷市公園施設長寿命化計画」に基づき、国の交付金を受けながら計画的に公園施設の更新工事を実施してきた。平成28年度は、鳥居平やまびこ公園の園路改良工事を実施した。
	今後	（29年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること） 30年度までは国の交付金を受けて計画的に公園施設の更新を行う。31年度以降については公園施設長寿命化計画の見直し等により継続して整備する必要があるが、特定財源としての国の補助事業の要件が変更になるのか注視することも重要である。

●改善の内容（ACTION）

10 今後の課題と対応策

今後の課題	（環境変化を考慮して事業を進めていく上で、29年度以降に課題になること） 効果的な実施計画が必要であるとともに、現在の交付金の対象外である施設についても計画的な維持管理と、財源確保を図りながら整備をし延命を図る必要がある。
課題への対応策	（上記の課題をふまえて29年度に実施する、具体的な対応方法） 公園ごとに国の制度、採択要件の改定に対応した更新、修繕の実施計画を策定するとともに、公園施設のこまめな点検と維持補修等を行い延命を図る。

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B